

全ての女性が輝く社会づくりにつながる

「暮らしの質」向上のための トイレ等とは

150612

設計事務所ゴンドラ

小林 純子

公共的トイレの見直しの経緯

見直しは1985年前後に始まった。

それ以前

排泄は人間の重要な生理機能だが、排せつ物の性格上、トイレは汚染されやすい。そのため長年、諦観された場となっていた。

排泄行為もトイレも他より見直しが遅れ、トイレは4K（汚い、臭い、暗い、怖い）といわれ、排泄を語ることをタブーとした社会環境もあった。

1985年当時の背景

その時代は下記のような社会的課題が意識され始めた頃である。

「アメニティの観点からの都市空間の見直し」

「女性の社会的進出」

「高齢者や障害を持つ人のためのバリアフリー化」

「量から質への価値観の変換」

その後

公共的トイレは4K からの脱却を図り、各施設でトイレの利用者ニーズが調査され、施設間で相前後し快適化が進んだ。

整備内容

排泄機能にとどまらず、心地よさが求められ、化粧直し、身繕い、おむつ交換、更衣、まちの中での個人空間、小休止の場として利用される空間となっている。

トイレ改善は特に安全性、清潔さをより求める女性がキャスティングボードを握り、改善の一翼をになって来た。

現在

快適なトイレ改善が広まり、トイレが快適になり、
一部で日本のトイレは世界一と評されるほどになった。

しかし、まだ課題も多い。

公共的トイレと女性の視点

現在の公共的トイレで求められる女性の視点

①安全か

配置・人の目

②清潔か

良好な清掃・汚損がない・くさくない

③社会的顔が保持できるか

化粧・見繕いの場（パウダーコーナー）

④生活者として子育てや介助のしやすさがあるか

ファミリーコーナー・授乳・高齢者介助

⑤流行や感度の高さに対応しているか

⑥男性と共同で参画できるか

⑦街でのもうひとつの休息の場になるか

なぜトイレがきれいになると女性が輝くか

○ トイレは社会や組織の見直しの第1歩

トイレは身近でみんなの関心事。

見直しに取り組むことは、多くの人に関心をもってもらうこと。
わかりやすいのでみんなで取り組める。

その機運を延長すると、大きなテーマの見直しにも通じる

○ 女性はトイレにこだわる。

女性が輝く社会は、自ら積極的に参画してつくるもの。

まずは身近なことから関心を持ってもらうことも大切。

○ 公共的トイレは安心社会のバロメーター

公共的トイレは社会の吹き溜まりになりやすい場所。

安全で清潔に維持された公共的トイレの提供は安心社会の基本。

○ 公共的トイレは弱者の味方

トイレは元気な時は気にならないもの。

心身ともの体調が万全でない時、弱い時、助けてくれる。

課題

1. トイレ改善促進に格差があること

- a. 男女格差 （便器数一般的には女性が多く待っている）
- b. 地域格差 （地方のトイレは総じて改善が遅い）
- c. 年代格差 （高齢者、子供等への配慮が不足）
- d. 施設間格差 （学校、病院、公衆トイレ、自然公園等）
- e. 障害を持った人との格差
 （全体的には促進しているが視覚障害者、
 聴覚障害者等への配慮は遅れている）

2. 安全性の確保

有料化・管理者の巡回強化・複合施設化等の検討

3. 快適さの持続

清掃の内容、体制、清掃者教育等の強化

4. 快適なトイレづくりのバックアップ組織

トイレを企画、設計、清掃、利用者対応までおこなう
総合管理運営者の設置が安定供給に繋がる。

課題の解決 一事例をとおして

1. トイレ改善促進に格差があること

a. 男女格差 便器数不足一般的には女性
が多く待っている

掲載不可

掲載不可

待たせないトイレづくりと現実

1. 利用者数に対応した便器数の確保

利用者数を正確に把握することが困難。

季節変動でピーク時が定常的でない。

利用者数から必要便器数が割り出されたとしても
トイレの面積が狭い。

2. 利用効率を考えたトイレ

和便器は利用者が少ないが、これしか使えない人が存在する。

空きトイレがわかりやすくなるレイアウト

C. 年代格差

高齢者 洋便器・手すり・オムツ捨て・介助者の場所

乳幼児 おむつ替えベット・ベビーチェア・幼児便器・
乳幼児介護の場所・オムツ捨て・授乳
男女が参画可能なレイアウト

等がパウダーコーナーの充実化に比べ整備不足

d. 施設毎の格差

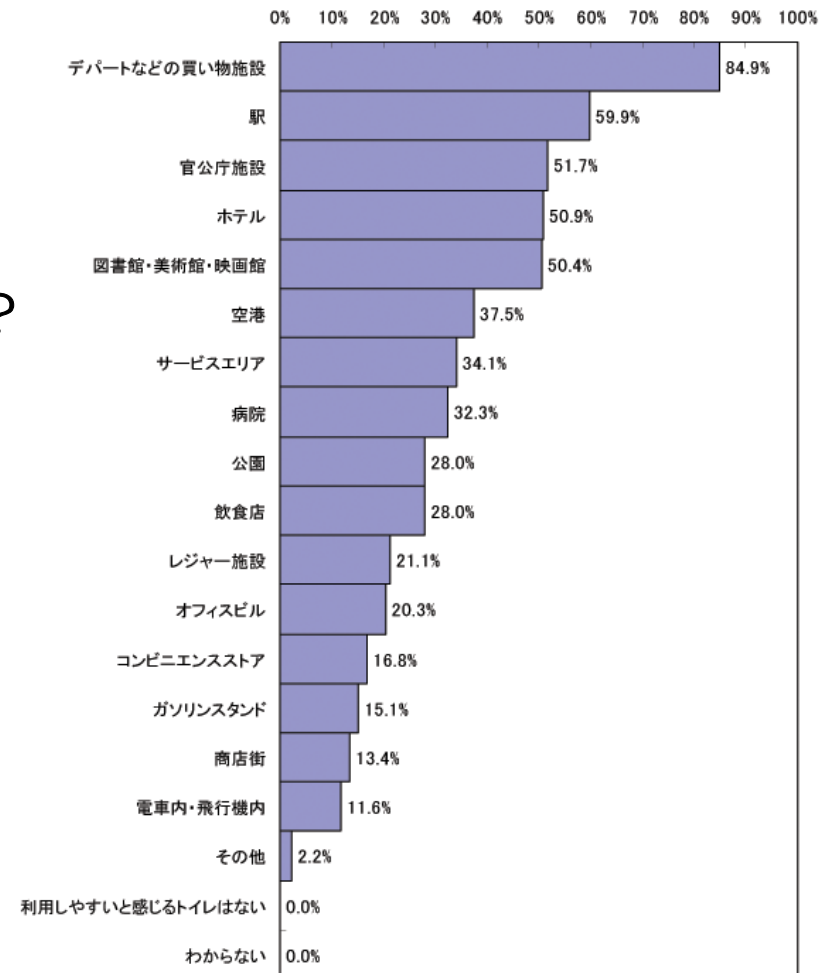
公共トイレに対する意識

- 外出時に利用しやすいと感じるトイレは
どういう場所・施設にあるトイレですか？
(複数回答) (全体N=232)

東京都によるインターネットア
ンケート調査

実施時期:2006年5月ごろ

- 順位 1. 商業施設
2. 駅
3. 官公庁施設



1) 商業施設

企業側は、7割の女性客に対して、店内での滞在時間を増やし購買力に繋げる狙いで美化に力を入れている。利用者からは、安心して清潔なトイレが常に用意されまた、ニーズに細やかな対応があると評価が高い。特に女性客の要望である化粧、身繕い、子ども連れ、休息等の整備はきめ細かく整備されている。施設間競争が激しく、結果、設計や清掃管理まで快適化とその持続のための改善活動も実施されている。

改修前



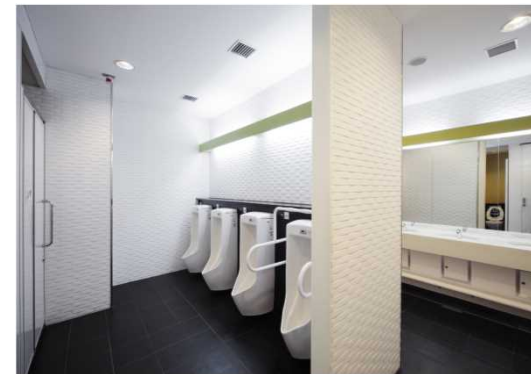
改修後



2) 交通機関（JR、メトロ、高速道路等）

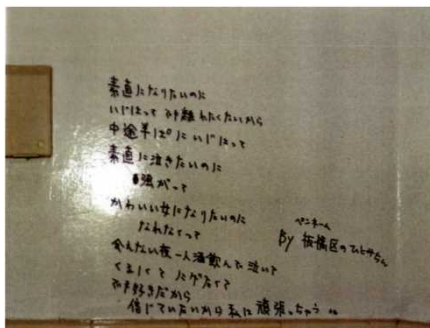
民営化による利用者へのサービスの見直し
の実施や 施設自体の商業化（滞在時間長期化による）が改善の促進に寄与している。
結果、女性客、ユニバーサルデザイン、
清掃等にも力を入れ改善が進んでいる。

改修前



3) 公衆トイレ

改築や改修はすすんだが、利用者が不特定多数の人々であること、無人管理であることが重なり、汚損や犯罪行為も起こりやすく、メンテナンスが追いつかないため、快適さの持続が困難なトイレが多い。ユニバーサルデザインに関しては、東京千代田区の調査によると、多機能トイレ、高齢者はほぼ設置されているが、視覚障害者、オストメイト、乳幼児連れ、子どもトイレ等の設置は未整備である結果であった。



4) 学校

校舎の老朽化等で6K（暗い、こわい、くさい、汚い、窮屈、壊れている）と言われ、トイレを使いたくない子供たちが多く、不健全で深刻な状況。耐震化、アスベスト除去等の工事が優先され改善が遅れているが、これらの改善が進み、トイレ改善に期待が高まっている。

改修前



e. 障害を持った人との格差 (全体的には促進はしている)

- トイレの場所がわからない
- 長時間滞在者がおり使えない
- 視覚障害者や聴覚障害者に対して検討が遅れている

それぞれの方の現状の問題点（京王電鉄京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターの取り組みから）

視聴覚障害者

- 男子・女子用のトイレの区別が判らない
- 紙巻器、洗浄ボタン・非常ベル等の位置が解からない
- 盲導犬と一緒に入れるトイレだと安心する
- 店員の方が「いらっしゃいませ」と声をかけてくれると、こちらから訊きやすい



脊髄損傷症で車椅子の利用者

- 車椅子が入れ、方向転換のできるトイレ
- 車椅子の高さから見やすい案内表示
- 大人用ベッドは、衣服の脱ぎ着がやりやすく、オムツも替えやすい
- 便座に座らなくても流せる洗浄ボタン



オストメイトの方

- たまった排泄物を捨てた後、パウチ（排泄物をためる袋）を洗いたい
- 排泄物が漏れやすく、衣服や体が汚れる場合があり、体を洗い、服を取り替えたい
- 荷物置き場や着替え台がほしい



弱視の方

- トイレ自体、また男女の別が見つけにくい
- 弱視の人にとってのサインの分かりやすさや物の位置は、バックの色とのコントラストで理解する



その他

- 導尿をしているため、明るいトイレがいい

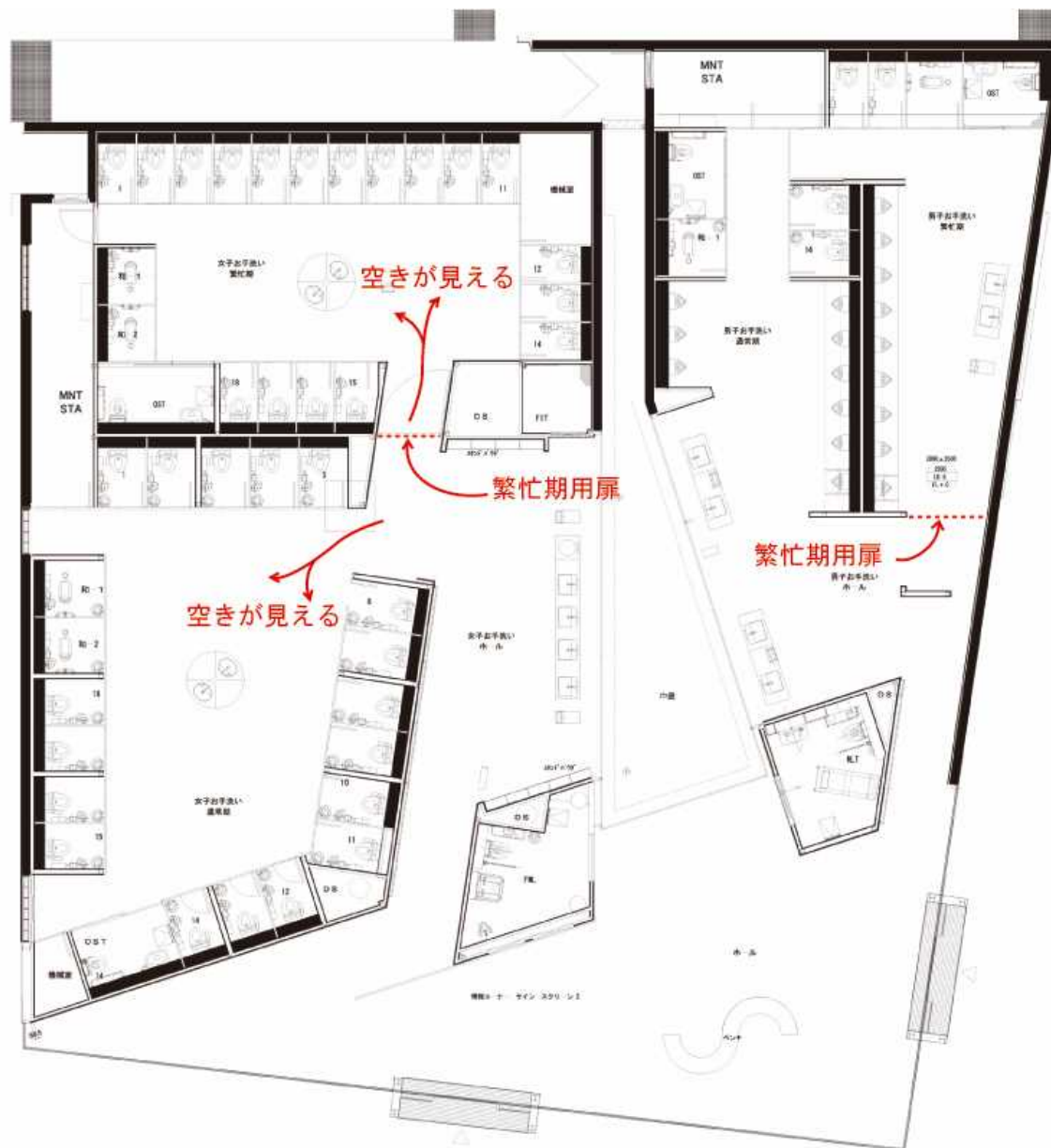
2. 安全の確保

通行人や管理者の目 死角のないレイアウト

複合化(集客性と安全性と利便性の確保)

例・レコード店・ジュースコーナー付・展示場・サロン・マッサージ
住宅展示場・花屋・化粧・シャワー・育児コーナー・高齢者支援





3. 快適さの持続

清掃の施設間格差

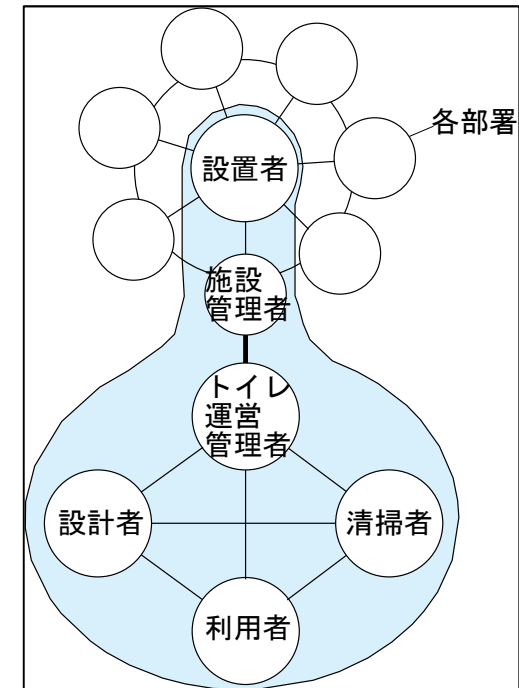
改修間隔・改修コスト・清掃体制・清掃方法・清掃コスト等の比較

		快適さの持続に関わる要素比較					
		①	②	③	④	⑤	⑥
		改修間隔	改修コスト	清掃体制	清掃方法	清掃コスト	改修後の即時のこまめな補修
商業施設	H駅ビル	5年(最小) 20年(最大)	約150万円/坪(改修)	外部委託	日常清掃: 1回/日(30分) 巡回清掃: 7回 定期清掃: 1回/月 特別清掃: 必要に応じて	約12万/月 1ヶ所 (他所事例)	女子社員と清掃者の連携で実現
学校	世田谷区	27年(最小) 44年(最大)	モデル校約130万/坪(改修) 1ヶ所 標準校115万/坪(改修)	用務主事 中学生	日常清掃: (10~15分) 定期清掃(トラップ): 1回/年 特殊清掃(床ワックス): 1回/年	世田谷は用務主事なので薬品代のみ 特殊 32万/年1回	対応していない
公衆トイレ	千代田区	11年(最小) 43年(近年最大) 85年(過去最大)	150万/坪(新築)	外部委託	日常清掃: 2回/日(10~15分) 定期清掃: 2回/年 特殊清掃なし	10万円/月 (他所事例) 特殊 1回35万/年 2回	対応が遅い
	千代田区	—	約175万/坪(新築)	管理運営者を兼ねる (外部委託)	日常清掃: 1回/日(1時間) 利用直後の清掃 定期清掃1回	150万~170万/月	対応

4. トイレ運営管理者の普及

運営管理者の必要性

「快適さの持続」＝質の向上
のための要となる



作品事例

JR博多シティ アミュプラザ博多

16カ所のトイレで利用者の様々なニーズに応じて、まちの信頼されるトイレなることを目指す。

老若男女・障害を持った人・こども連れ・女性
基本的快適さ＋αの快適さ・楽しさ・きめの細かいニーズ

コンセプト

- ①ホスピタリーのあるトイレ
ユニバーサルデザインもう1つの休息コーナー
- ②時代を先取りし、かつうわべだけではない真の感動を与えるトイレ
シンプルなデザイン
ゆったりしたスペース
- ③メンテナンス性を考えたトイレ
メンテナンス性のよい建材の採用
水はねの少ない手洗い
- ④ロケーションを生かす
窓を生かす

8F 展望

話題性





3F 混雑 待たせないトイレ



ユニバーサルデザイン 誰もが買い物等を楽しめる

各階に1箇所多機能トイレ
各トイレ 広めのトイレ・手すり



ファミリーコーナー

家族連れに対応
全館に5箇所

乳幼児の排泄や授乳及び休息に対応



6Fファミリーコーナー

8Fファミリーコーナー

女性の身繕いと化粧

各トイレに設置

特別な化粧室として 5箇所

3F（下部写真）



カラフルタウン岐阜

（トヨタオートモールクリエイト）

こども広場

(こどもトイレ・オムツ替え・遊び場・授乳・休息)



2. 提案



①待合休憩ベンチ



②ベビーカー置き場



③オムツ換えコーナー



④プレイルームとベンチ



⑥車型の幼児用トイレ



⑧車型の子ども用ブース手洗い



⑦幼児用小便器



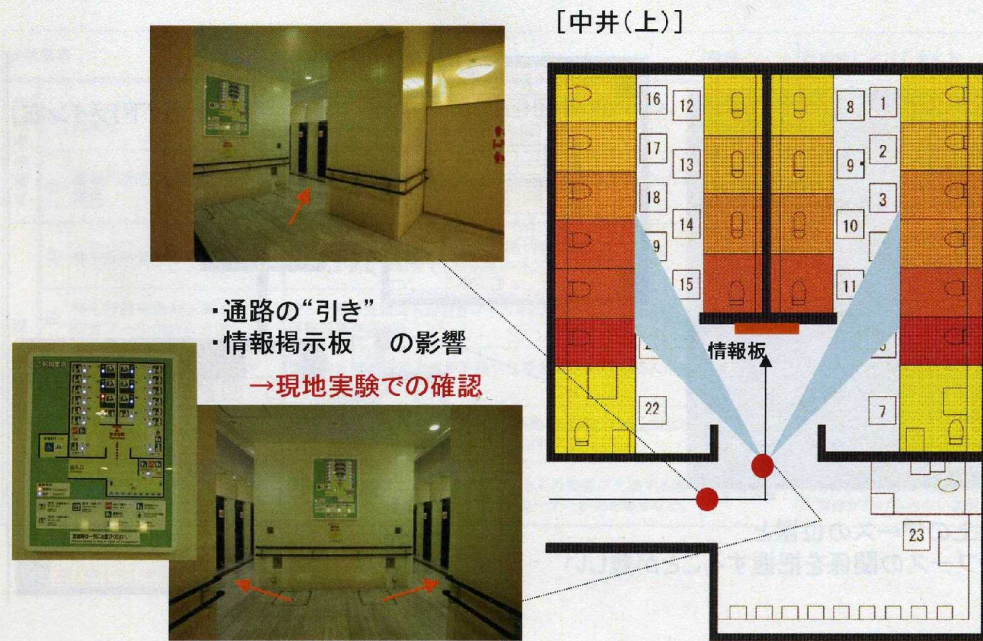
⑨調乳コーナー



⑩授乳室

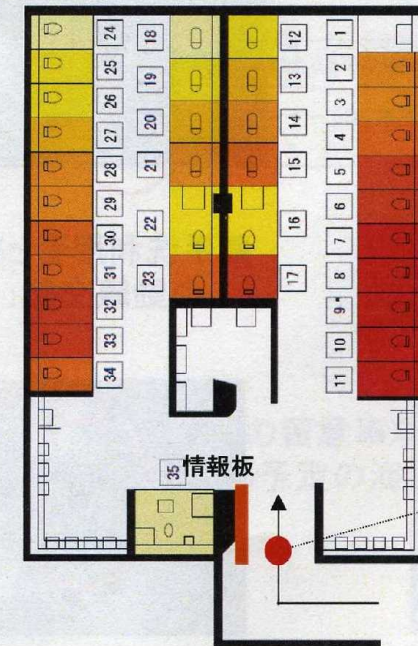


＜利用率が左右対称の場合＞



9

[中井(下)]

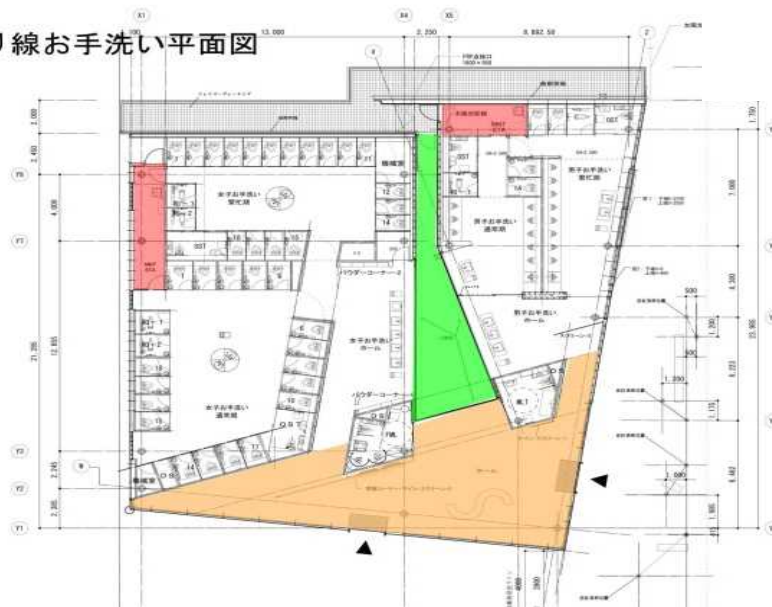


情報板上のブースの位置と
実際のブースの関係を把握することが難しい

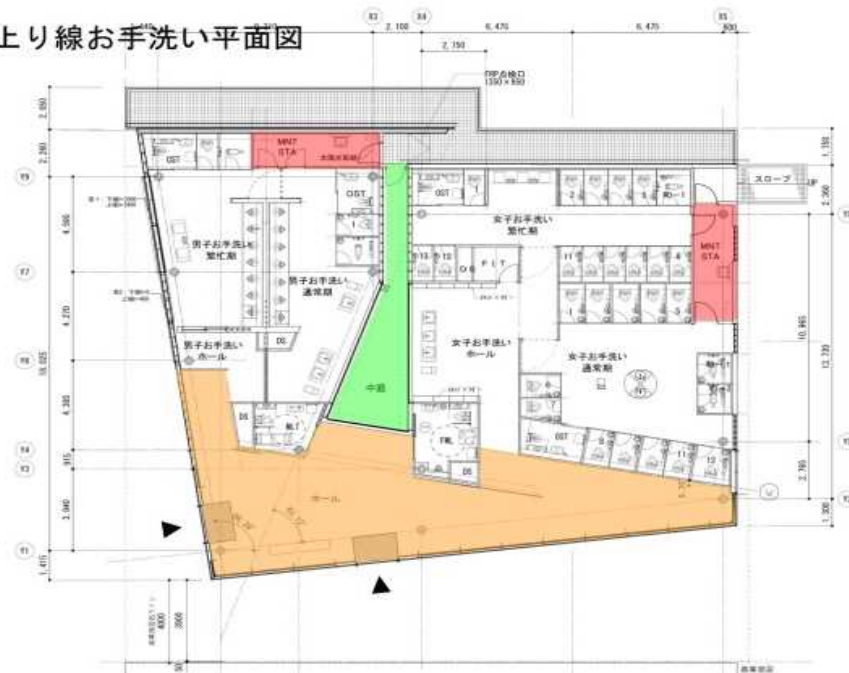


トイレブースが見える方に行きたがる
傾向がある

■13. 下り線お手洗い平面図



■14. 上り線お手洗い平面図



新東名高速道路清水PAのお手洗い





ロビーから中庭を見る



ロビーとファミリートイレ





見附市道の駅 パティオ新潟 全体外観





内観

車で訪れる人々の休憩所としてのトイレ

トイレ入口



女子トイレ



男子トイレ



東雲公衆トイレ 安全性を優先して設計 外から見える





学校トイレ

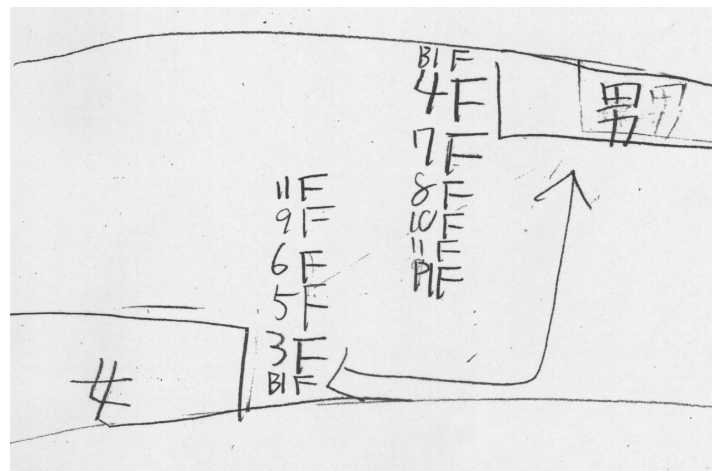
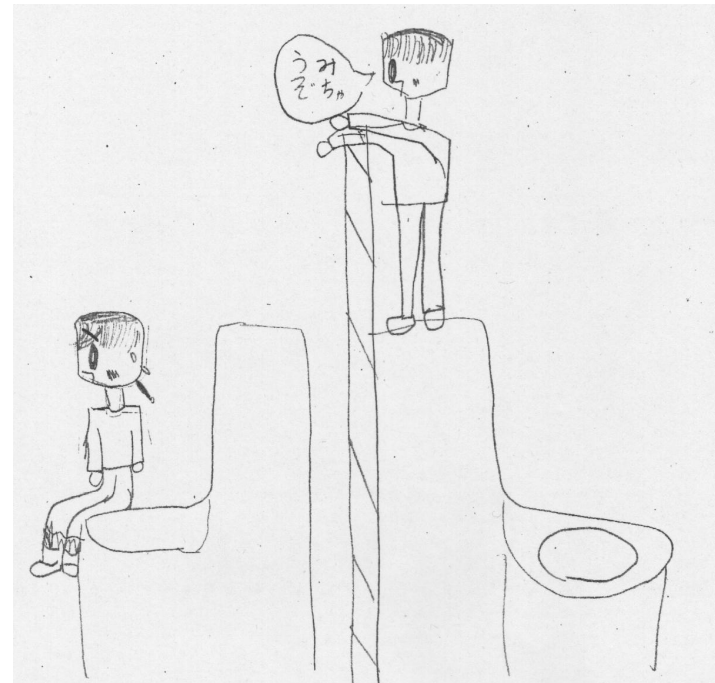
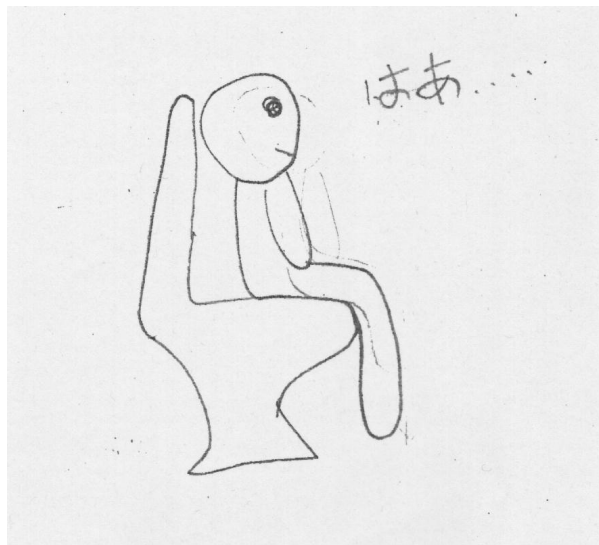
現状写真 2000年ごろ

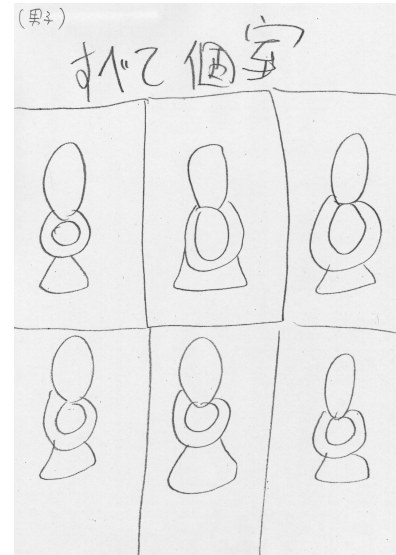
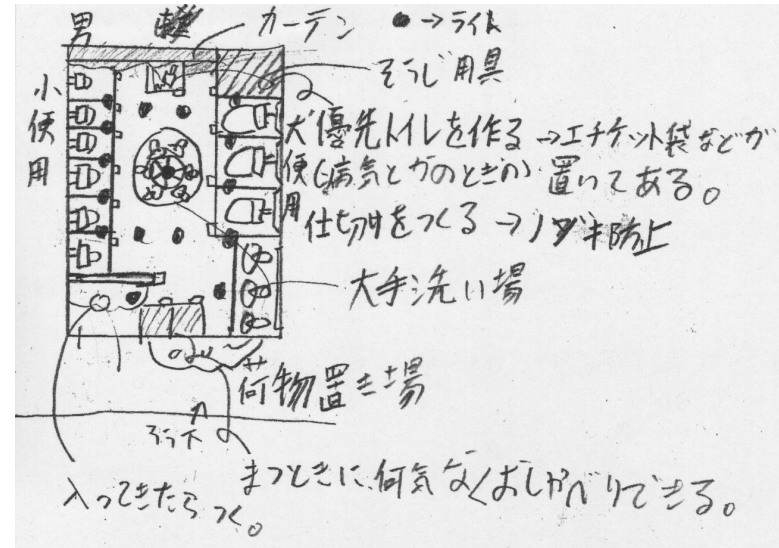
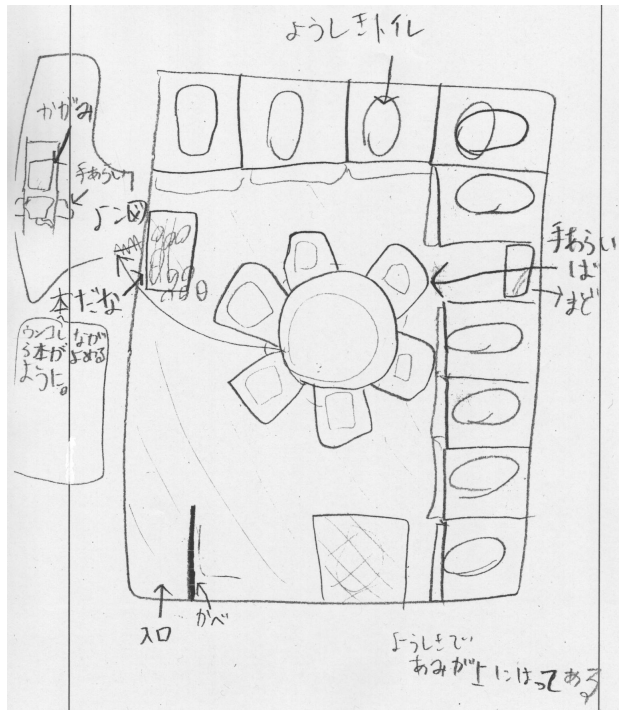


Y小学校のトイレ現状調査ワークショップ から



子どもの描いた理想のトイレ





広さ高さ調査



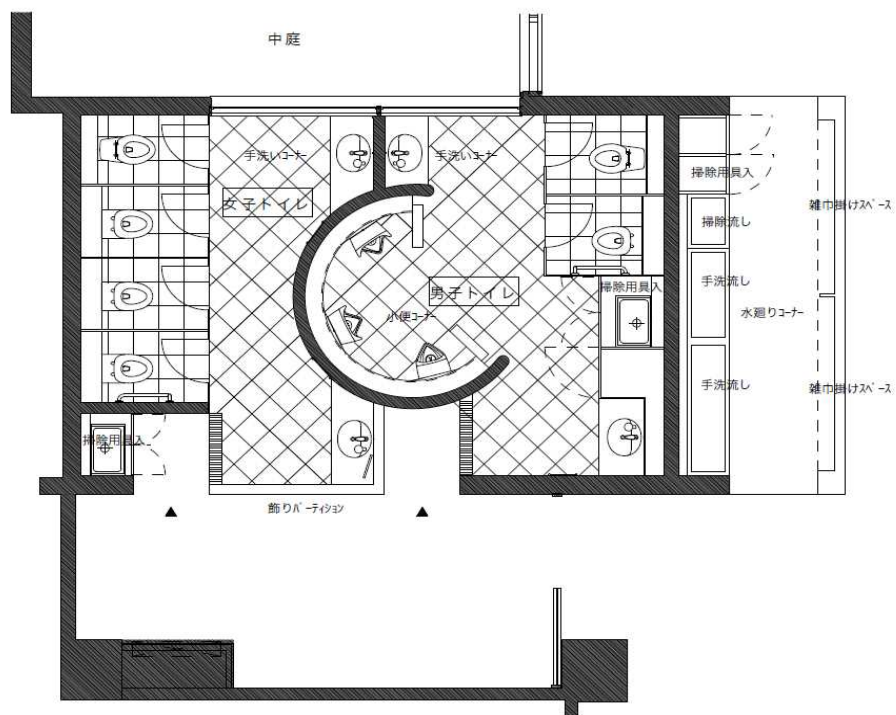
明るさ調査



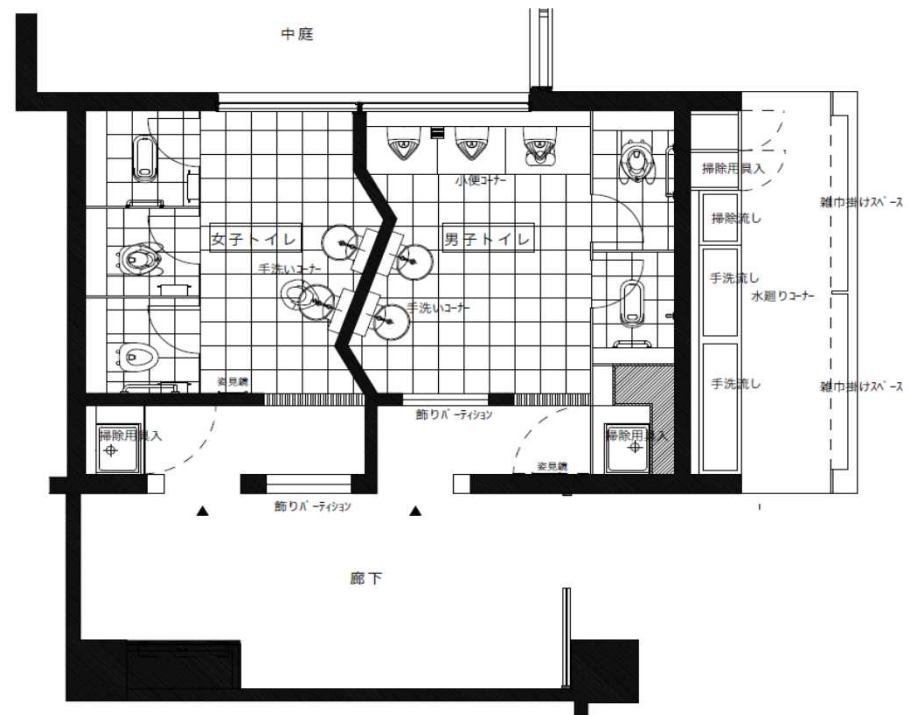
においと汚れの調査



低学年用トイレ



中・高学年用トイレ



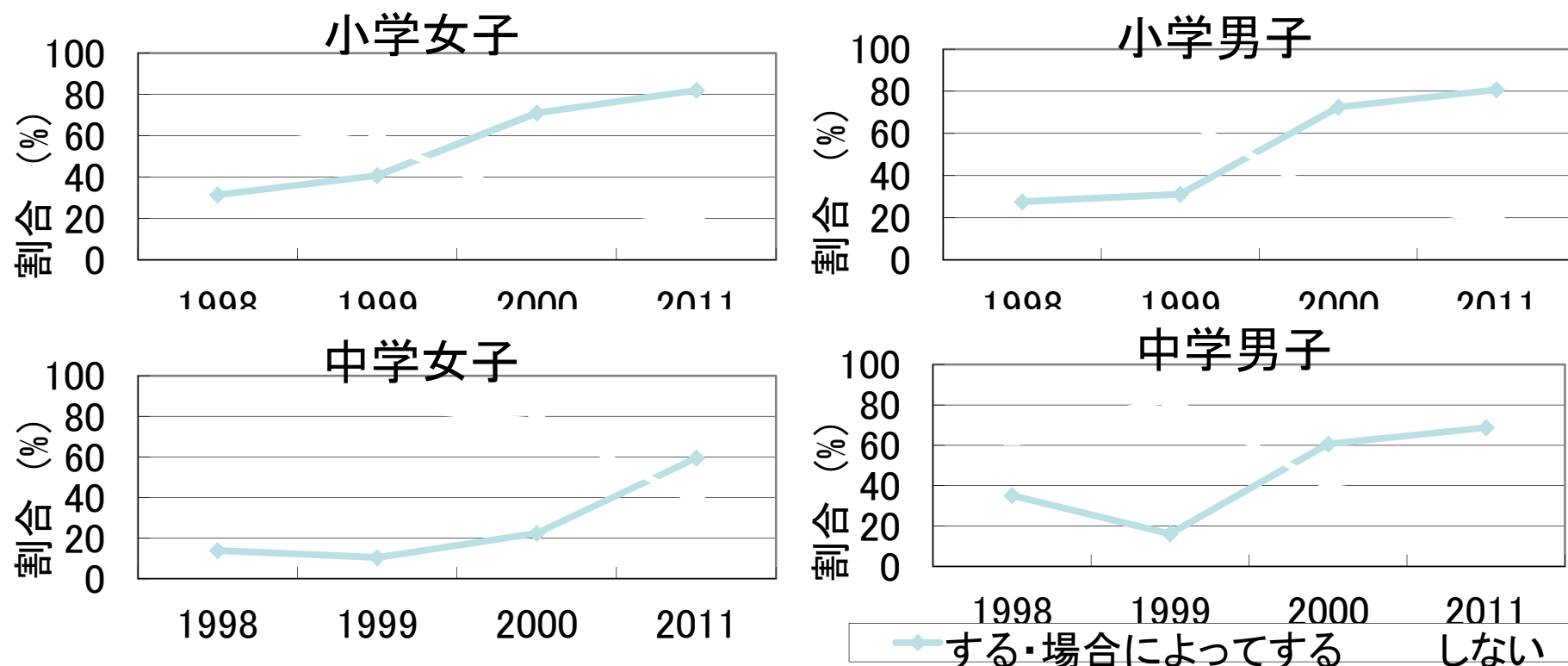






学校のトイレ 一世田谷区の15年間の改善の取組

13年間にわたる児童生徒のトイレ改修に対する評価の変化 【学校で大便をするか】



学校のトイレ ―世田谷区の15年間の改善の取組

【学校で大便をしない理由の変化(小学校)】

人的・ 心理的理由	・出ない(16) ・したくない(7) ・できない(4) ・なんとなく(14) ・いやだ(7) ・する気がしない(1) ・誰かが流し忘れている(2) ・長時間使えない(1) ・時間の無駄(2) ・覗かれる(1) ・開けられる(1) ・他人が入ってくる(1) ・待てない(1)
物的理由	・虫がいる(2) ・鍵が不良(4) ・慣れていない(2) ・電気がない(1) ・臭い(1) ・ペーパーがない(2)
その他	・理由なし(11)

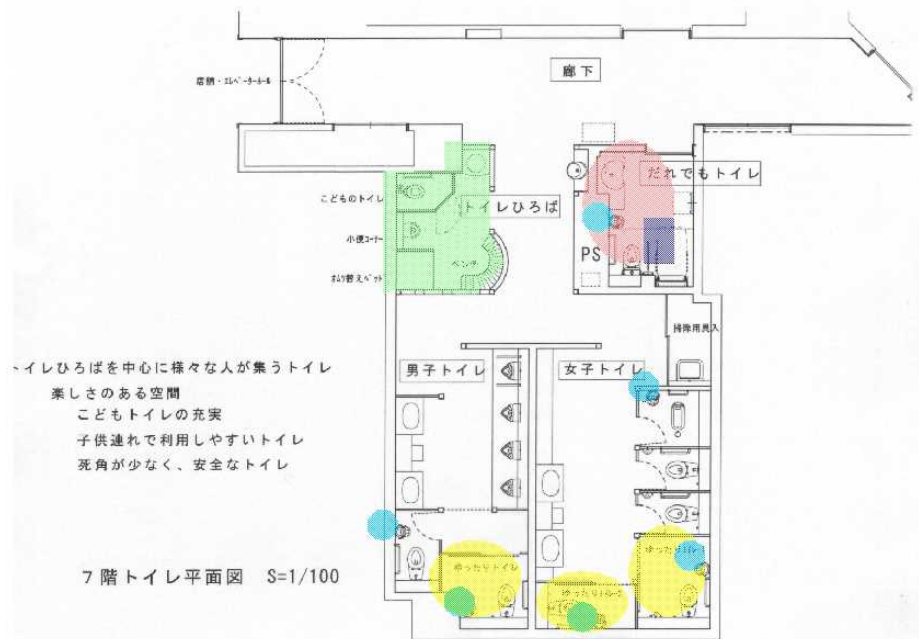
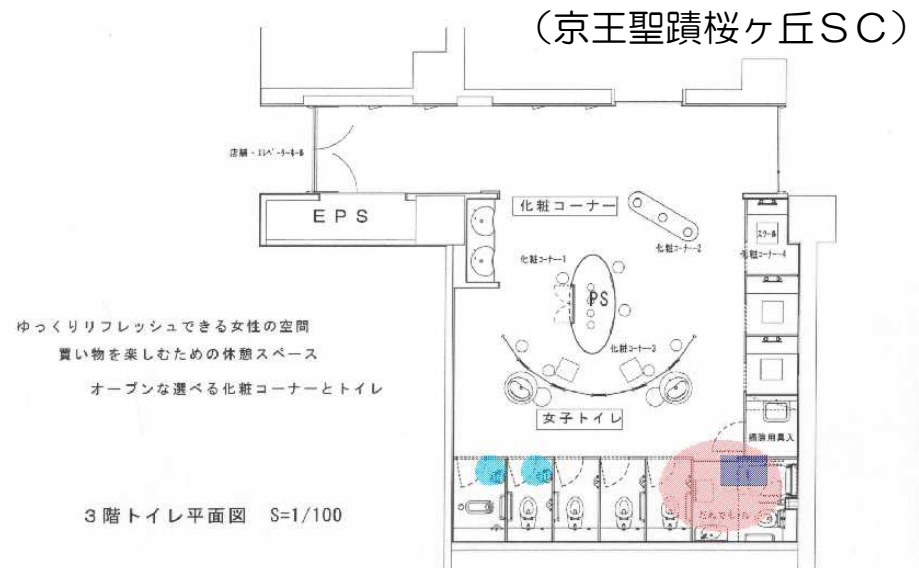
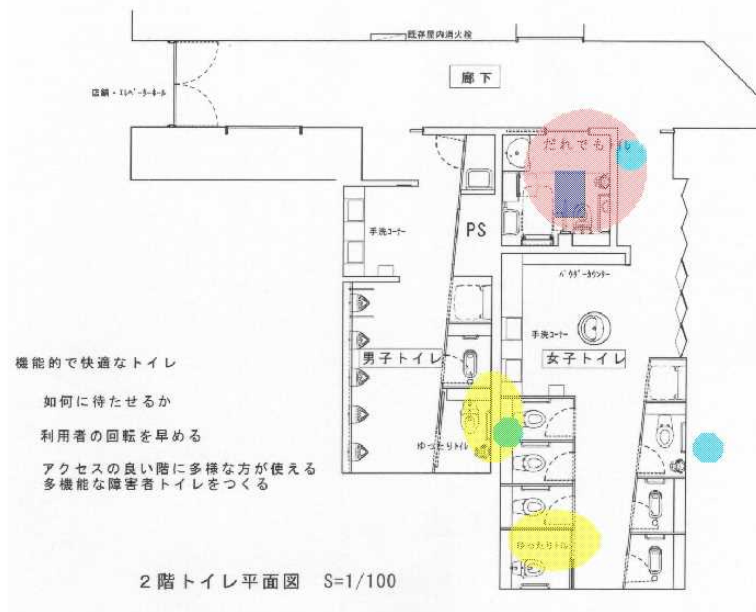
*カッコ内は回答数

表3-10 学校で大便をしない理由(その他の欄への自由記入、2011年)

ユニバーサルデザイントイレの配置計画の例

ユニバーサルトイレの配置計画

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ● 多機能トイレ | ● ベビーチェア |
| ● ゆったりトイレ | ■ 身障者用ベッド |
| ● トイレひろば | 全ブース手すり付き
小便器各1ヶ所手すり付き |



京王聖蹟桜ヶ丘S Cのユニバーサルデザイン会議

進め方

アンケート・ヒアリング



要望のまとめ



設計コンセプトづくり



基本設計



ユニバーサルデザイン会議

リニューアル前の施設の見学と現状の問題

- 明るさ、コントラスト
- 荷物の置き場所
- 一般社会内のユニバーサル
- 情報の伝え方



ユニバーサルデザイン会議
工事途中の見学



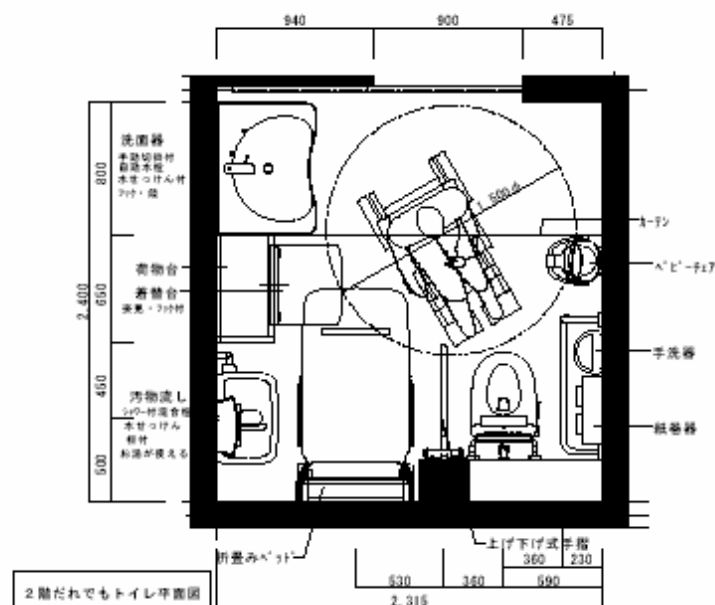
ユニバーサルデザイン会議
リニューアル後

完成後の検証

改修後の問題点をさぐる

- サイズのわかりやすさ
- 洗浄ボタンのわかりやすさ
- 他

改修後のトイレの一部

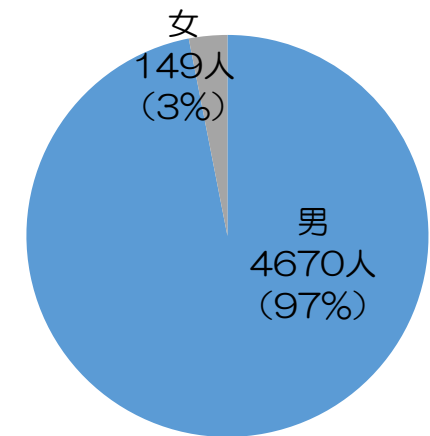


内部-1

2. 安全性の確保 有料化・管理者の巡回強化・複合施設化等の検討

1) 千代田区公衆トイレの例 (2003年千代田区調査)

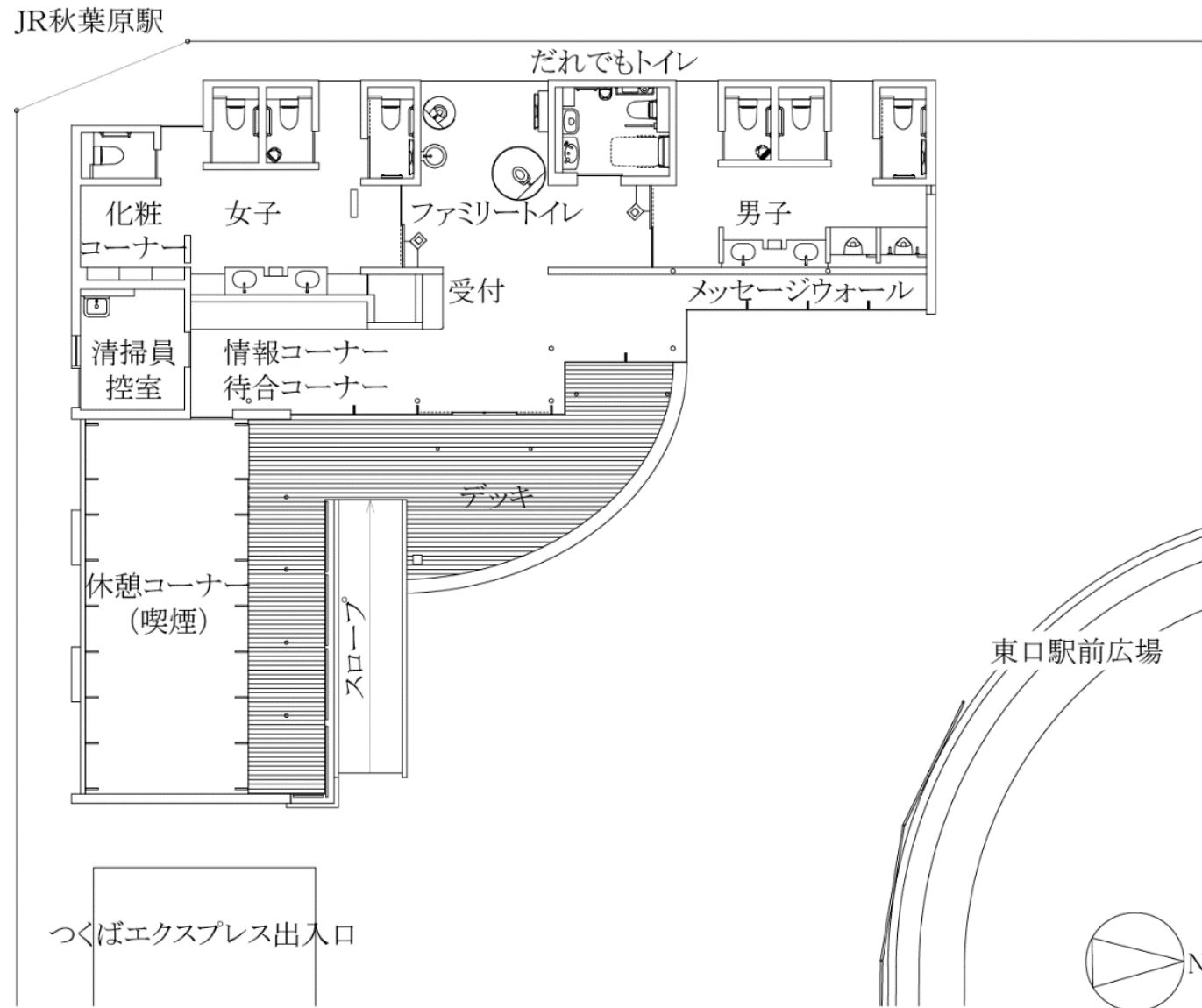
1. 一日の利用者は34ヶ所中、
男子4670人 女子149人である。
2. 女子は9ヶ所で0人であった。
3. 利用者は、会社員、タクシードライバー等が多い
4. ホームレスの寝泊り / 男女共用である（一部のトイレ）
悪臭があるとの指摘があった。



千代田区公衆トイレの利用人数



千代田区秋葉原有料トイレ





トイレ前案内、情報コーナー



ファミリートイレ



女子トイレ



男子トイレ



個室



2) 案内所に隣接してトイレがある キャナルシティ博多イースト



3) その他

女性をターゲットに化粧品会社とのコラボ
育児支援のための製紙会社とのサンプル提供
コラボ



JR横浜駅「リフレスタ」

トイレ利用者に施設案内の商品PRのための店舗
商品展示およびサンプル提供によるコラボ



東京メトロ池袋駅 「クリュスタ」

トイレ利用者に施設案内の商品PRのための店舗
商品展示およびサンプル提供によるコラボ



JR横浜駅「リフレスタ」



京王聖跡桜ヶ丘 SC